

## 会議録（会場共通）

会議名	小学校統合説明会
日 程	<p>①令和3年7月19日（月） 志雄小学校ランチルーム</p> <p>②令和3年7月20日（火） 相見小学校ランチルーム</p> <p>③令和3年7月21日（水） アステラス研修室（宝達小学校校下）</p> <p>④令和3年7月27日（火） 押水第一小学校ランチルーム</p> <p>⑤令和3年7月28日（水） 樋川小学校ランチルーム</p> <p>各会場午後7時30分～</p>
開会挨拶 寶達町長	<p>本日はお忙しい中、また日中のお疲れのところ、小学校の統廃合の説明会にご出席くださって、誠にありがとうございます。</p> <p>小学校統廃合については、私の就任前に計画がございました。しかしながら、当時は、慎重なご意見であったり、反対のご意見もありました。</p> <p>そうした中、統廃合を進めていくとしましても、現在と同様に児童が良い環境で学ぶことができるよう、また、保護者の皆さまをはじめ、町民の皆さまに学校運営についてご協力いただき、活力ある学校、校下、まちづくりに取り組んでいけますように、ご理解をいただきながら、円滑に進めていくことが重要であると考えております。</p> <p>私は、町長就任以来、良い教育環境のためにはどのような学校体制が望ましいのか検討してまいりました。町内31か所で開催したタウンミーティングにおいて、また、小学校・中学校の先生方、保育所の先生方にもご意見を伺いました。</p> <p>その中でも、統廃合については賛否両論ございましたが、そこで改めて感じましたのは、素晴らしい伝統と良い校風のもと、地域みなさんに支えられながら、児童が育ち、充実した学校運営が行われていることです。</p> <p>一方で、児童数が減少し、また校舎の老朽化が著しい状況においては、5校を存続することが極めて難しいと考えております。</p> <p>そうした中、令和2年3月に町議会において、2年間の出生数を基に最終的な判断をさせていただくと申し上げました。結果については、出生数は町で40人台という状況が続きますことから、児童の学びの保障を最優先とし統廃合を行うこと。時期については、諸準備のために今から3年8カ月後の令和7年4月に新しい小学校としてスタートすることといたしました。</p> <p>本日の説明会では、学びの保障を継続していくための学校教育のあり方、地域の核としての学校のあり方について、そして統廃合に向けた準備とスケジュールについて、ご説明させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>

資料P1 細江教育長	<p>私の方から、これからの町の学校として大事にしていかななくてはならないことを説明させていただきます。</p> <p>非常に沢山あるのですが、その中で特に4点、統廃合を見据えた4点について、説明させていただきます。</p> <p>まず、この町として何よりも大切にしなければいけないことは、先ほども話しが出ましたように子どもたちの学びの保障ということです。</p> <p>これが、大前提です。子どもたちの学びの保障をするにあたり、2つのことを大切にしていきたいと思っております。</p> <p>1つは、学びの個別化・個性化、子どもたちの可能性を引き出し、そして個性を引き出し、子どもたちに確かな力を付けていく、そういった学びを進めること。</p> <p>2つ目が、協働学習ということをお願いしたいと思っております。</p> <p>協働学習というのは、学び合う学習ということでございます。先ほどの個性化・個別化については1人でも学習はできます。学ぶことはできます。最近タブレット等でオンラインで自分で調べたりして、1人でも学ぶことができます。しかし、協働学習、学び合う学習となるとある程度の集団が必要となってきます。その集団の中で自分の考えを述べ、そして高めていく。そういう協働学習を進めていくことが必要となってきます。</p> <p>そういったときにあまりにも集団が小さいと、協働学習の効果が上がりません。</p> <p>本町において、協働学習の機会が少なくなるということをしてできるだけ避けていきたい。他の地区へ行くとその機会はあるのだけれども、うちの町において、そういうことが少なくなるということを守るための取組を進めて行き、より良い集団にしていきたいと考えております。</p> <p>2点目です。</p> <p>教育は、やはり、質を高め合うことが非常に大切になってきます。この質を高めるときには、やはり、学び合う仲間、それから、競い合う仲間、切磋琢磨する仲間が必要になってきます。そういった時にもある程度の集団を形成することが必要になってきます。</p> <p>それは学校間についても同じだと考えております。やはり、お互いの学校を認め合い、そして、学校同士で競い合う、そういう学校としていきたいと思っております。そのために、1校ではなく、2校ということを考えております。これも教育の質を高めるために、2校に絞っていくという考えでございます。</p> <p>3点目です。</p> <p>先ほども申しましたけれども、個性化・個別化の学習がどんどん進められていきます。そうしますと、学びはできます。今最近タブレットが入っております。それぞれがICTをして学びを進めて行くことができます。</p> <p>ただし、小学校において、タブレットにおけるオンライン学習ばかりして</p>
---------------	--

	<p>いきますと、どうも人間関係が上手くいかないことが起きてきます。</p> <p>大学生において、オンライン学習を進めているときに問題になってきていることが、孤立化、オンライン学習による孤独化がおきている。そのために大学生においても対面授業が非常に重要になってきていると言われております。小学校においてはなおさらのこと、機械相手ではなくて、テレビの世界ではなくて、生の子どもたち同士で授業を進める。先生方と授業を進める。そういった対面学習をしていくことが大切だと考えております。その時にも、やはり、ある程度の集団が必要であります。</p> <p>これからの学習として、オンラインとか、タブレットを活用したICT学習の推進。そして、もう1つは対面の良さも取り入れた学習を進める。これを、ハイブリッド型の学習という表現をすることもございます。そういった学習を本町においても推進していきたいと思っております。</p> <p>4点目です。</p> <p>統廃合は石川県の中でも行われているわけですがけれども、その時に、学校が無くなる地区の方々は、どうも新しい学校について、遠い世界になって、自分たちの学校ではない、よその学校というイメージが、よく話されておりますけれども、本町においては、新しい学校になった時に、そういったことが無いように学校から様々なことを発信をしていく、そして、新しい地区の学校として認識していただくように、地域の方を巻き込んだ活動、それから、様々な学校の取り組みについて、どんどん発信していく、ということを取り入れていきたい。地域の学校としての新たな誇りを持っていくような取り組みをしていきたいと考えております。</p> <p>以上の4点を特に大切と考えて、これから環境を整えていきたいと思っております。どうぞ、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。私の方からは以上です。</p>
<p>資料P2 学校教育課</p>	<p>2ページ上段に、表1 学校・地区別の小学生児童数を載せてあります。</p> <p>表の左端には、出生年度として平成25年度から令和2年度までを載せてあります。その右側に、押水第一小学校下の各年度の出生数、順に、宝達小学校、相見小学校、押水地区の計、樋川小学校、志雄小学校、志雄地区の計、町の合計、右端には、令和7年度の学年を載せてあります。</p> <p>平成25年度生まれの子供たちは、令和7年度には6年生、平成30年度生まれの子どもたちは、令和7年度には1年生となります。</p> <p>表の中に、2重線で囲った部分がありますが、こちらは、令和7年度に複式学級となる学年を囲ってあります。</p> <p>令和7年度には、押水第一小学校の4年生と5年生、宝達小学校の3年生と4年生が複式学級となります。</p> <p>複式学級の基準は、1年生を含まない学年では16人以下、1年生を含む学年では8人以下となっています。</p> <p>この基準に従い、年度によっては複式学級となる学年を、点線で囲ってあ</p>

	<p>ります。</p> <p>宝達小学校では、平成25年度生まれの学年以外は、年度によって複式学級となりますが、平成25年度生まれの学年についても、転出などにより1名でも減少すると、複式学級となる可能性があります。</p> <p>各学校で複式学級が最初に生じるのは、宝達小学校で令和4年度から、押水第一小学校で令和5年度から、樋川小学校で令和10年度からの見込みです。</p> <p>次に、中段をご覧ください。図1 押水地区の出生数の推移、及び、図2 志雄地区の出生数の推移を載せております。</p> <p>こちらの図は、表1をグラフにしたもので、令和元年度以降に出生数が減少していることが分かります。</p> <p>次に、下段をご覧ください。表2 性別人数の偏りが大きな学級と統合による緩和を載せております。</p> <p>こちらの表では、表1に掲載されている全ての学年において、男女の数の大きい方で小さい方を割って、均等比を求め、その値の小さい方から5つを掲載しています。</p> <p>最も偏りが大きかったのは、平成30年度生まれの宝達小学校下の子どもたちで、男3人対して女0人、次いで、平成28年度生まれの宝達小学校では、男8人対して女1人、令和2年度生まれの押水第一小学校では、男6人対して女1人ということで、大きな偏りがみられます。</p> <p>表の中に右向きの矢印がありますが、その右側には、統合した後の男女人数を掲載しており、統合によって、ある程度、偏りを緩和できることが分かります。</p>
<p>資料P3 学校教育課</p>	<p>3ページの左側に、2 新しい教育と学校を載せております。</p> <p>こちらは、文部科学省が定める教育課程の基準である学習指導要領の内容から抜粋したものです。</p> <p>約10年ぶりに改訂された、新しい学習指導要領は、小学校においては、令和元年度を移行期間として、令和2年度から完全実施されています。</p> <p>これを受け、教科書や教育課程が変わっておりますので、今回、項目のみ、ご紹介させていただきます。</p> <p>2-1 確かな学力を育み、自ら課題を見つけ、主体的に解決できる力の育成、2-2 豊かな心の育成と健康でたくましい体力の保持増進、2-3 思いやり、支え合いを大切にする心の育成といった内容が盛り込まれております。</p> <p>3ページの右側に、3 統合の形態・準備とスケジュール案を載せております。</p> <p>最初に、3-1 統合の形態について、押水地区は、押水第一小学校、宝達小学校、相見小学校の3校を統合し、相見小学校・校舎に集約いたします。</p> <p>志雄地区は、樋川小学校、志雄小学校の2校を統合し、志雄小学校・校舎</p>

	<p>に集約いたします。</p> <p>次に、3-2 統合準備委員会について、統合のために課題の調査・検討を行うと共に、所要の準備を行い、円滑な移行を図ることを目的として、関係者による準備委員会を設置いたします。</p> <p>準備委員会は、統合学校区毎に設置いたします。</p> <p>委員会の構成員として、各小学校のPTA から、会長、副会長及び母親代表、保育所保護者会から会長、識見を有する委員、各小学校の校長、教頭、その他の教職員の皆さま方にご協力いただきたいと思いますと考えております。</p> <p>なお、小学校PTA、保育所保護者会の役員の方々には、後日改めて準備委員会について、ご説明し、ご協力をお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、協議事項について、準備委員会に、いくつかの部会を置き、その部会でさまざまな事項を協議して、決定していきます。</p> <p>資料に記載している部会は、中学校統合の際に設置した部会で、総務部会、通学部会、PTA・式典部会、学校教育部会、事務部会を載せております。</p>
<p>資料P4 学校教育課</p>	<p>4ページ上段に、図3 統合準備委員会の組織概略図を載せております。</p> <p>保護者の皆さまに検討をお願いする事項は、総務部会、校名・校歌・制服等に関する事、通学部会、通学の方法、安全対策等に関する事、PTA・式典部会、PTA 組織と閉校記念事業に関する事の3つの部会に関する事となります。</p> <p>4ページの下段に、図4 統合準備スケジュール案を載せております。</p> <p>上から、校舎工事関係、準備委員会 総務部会、通学部会、PTA・式典部会のスケジュールを掲載しております。</p> <p>こちらも中学校統合の際のスケジュールを基にしたものとなっております。現時点では、予定ということで、ご覧ください。</p> <p>例えば、総務部会を見ていただくと、令和3年度後半から4年度前半にかけて、まず校名を決定します。</p> <p>校名の決定を受けて、令和4年度の後半から校歌の制作に入り、作詞・作曲・プラスバンド用に編曲といった行程を経て、歌唱練習をして開校にそなえるという順番になっています。</p> <p>また、校名の決定後、校章・校旗のデザインを決め、決定した校章のデザインを制服や体操服などへ表示するかどうかを決めていく、といった流れになっております。資料の説明は、以上になります。</p> <p>～以下、樋川小学校のみ追加で説明～</p> <p>制服について、例えば統合した後の新1年生から、新しい制服とし、在校生については、統合前の学校の制服を着用することが考えられます。</p>

	<p>そうすると、最長で5年間は、複数の制服が混在する期間が生じることとなりますが、詳細については、準備委員会で決めていきたいと考えております。</p> <p>なお、本日の資料のほか、統廃合関係の情報について、町のHPに特設ページを設けております。</p> <p>町HPのトップページには「行政サイト」「観光サイト」「子育てサイト」という3つのカテゴリーがあり、そのうちの「子育てサイト」を開いていただくと、「小学校統廃合特設ページ」が表示されます。</p> <p>このサイトには、会議資料のほか、会議録、準備委員会での検討状況を、順次掲載していく予定です。</p> <p>また、サイト内に、「ご意見・ご質問の受付フォーム」がありますので、ご意見等がある場合にはご活用ください。</p>
質 疑	各会場の会議録を参照
閉会挨拶 細江教育長	<p>色々なご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>私たちは子どもを取り巻く大人として、子どもたちの成長、学びを一番大切にした環境をいかに創っていくかということを中心に考えて、これから皆さんとともに、統廃合について取り組んでいけたらと思っております。</p> <p>今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>